

中小企業景況調査報告書

令和 6 年 1 0 月～令和 7 年 3 月期

本調査は、瀬戸内町・宇検村の産業状況等地域の経済動向について、半期毎に実施しているものです。

1. 調査対象期間 令和 6 年 10 月 ～ R 7 年 3 月
2. 調査方法 商工会職員による訪問及び面接調査
3. 調査対象地域 宇検村・瀬戸内町
4. 回答企業 30 企業
5. 調査項目 今期（R6.10月～R7.3月）と前期（R6.4月～R6.9月）・前年同期（R5.10月～R6.3月）を比較した際の業況・売上高・客単価・仕入単価・資金繰りを調査。また、来期の見通しについても同項目にて調査を実施。以下、回答数の最も多い回答を掲載。

【総括】

全体として今期の業況では特に大きな変化はないとの回答が多く集まった。しかしながら、卸小売業、その他サービス業では業況の悪化も多く回答された。大きな変化がない中でも仕入単価の上昇は全業種で共通しており、業況において不変もしくは悪化の傾向がみられる。

産業別業況

	今期業況	前年(R4.10～R5.3)と比較	前期(R5.4～R5.9)と比較
建設業	ふつう	不変	不変
製造業	ふつう	不変	不変
卸小売業	ふつう・悪い	悪化	悪化
飲食宿泊業	ふつう・悪い	不変	不変
その他サービス業	ふつう・悪い	不変・悪化	不変・悪化

<回答分析>

卸小売業を除く業種では業況に変化がないとの回答が多くみられたが、すべての業種において業況の悪化が業況の好転よりも多く回答されている。仕入単価の上昇による業況の悪化が影響されていると考えられる。

①前年同期(R5.10月～R6.3月)との比較

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	不変	不変	上昇	不変
建設業	不変	不変	上昇	不変
製造業	増加	不変	上昇	不変
卸小売業	減少	同数	不変	不変
飲食宿泊業	減少	不変	上昇	不変
その他サービス業	同数	不変	不変	不変・悪化

<回答分析>

売上高は全体的には不変の回答が多くなった(37%)。しかし卸小売業や飲食宿泊業においては減少の回答も多くなった。客単価については増加や不変が多いが、仕入単価は全業種で上昇傾向となっている。

②前期(R6.4月～R6.9月)との比較

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	不変	不変	不変	不変
建設業	不変	不変	上昇	不変
製造業	不変	不変	不変	不変
卸小売業	減少	不変	不変	不変
飲食宿泊業	同数	不変	上昇・不変	不変
その他サービス業	同数	不変	不変	不変・悪化

<回答分析>

全体として売上高は不変となり前期と同程度の売上高との回答が多くなった(37%)。仕入単価は上昇傾向にあり、業況感では不変の回答が多いが、好転している企業よりも悪化していると回答する企業が多い傾向にある。

③来期(R7.4月～R7.9月) の見通し(前年同期(R6.4月～R6.9月)と比較)

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	不変	不変	不変	不変
建設業	不変	不変	上昇	不変
製造業	減少	不変	上昇	悪化
卸小売業	減少	減少	不変	不変
飲食宿泊業	不変	不変	上昇・不変	不変・悪化
その他サービス業	不変	不変	不変	不変・悪化

<回答分析>

製造業、卸小売業では売上高の減少を見通す企業が多く、仕入単価の上昇傾向とあわせ、資金繰りや業況において不変・悪化となると見通す企業が多くなっている。

発行：瀬戸内町商工会
宇検村商工会